



【う め】*下線部は重要防除です。

病害虫防除

4月上旬	かいよう病	マイコシールド	収穫21日前	4回	1,500倍	66g/水100ℓ
	黒星病	デランフロアブル	収穫14日前	2回	2,000倍	50ml/水100ℓ
		又はペンコゼフロアブル	収穫21日前	3回	1,000倍	100ml/水100ℓ
	アラムシ類・カミ類	ダントツ水溶剤	収穫前日	3回	2,000倍	50ml/水100ℓ
4月下旬	かいよう病	マイコシールド	収穫21日前	4回	1,500倍	66g/水100ℓ
	黒星病	ストロビードライフフロアブル	収穫7日前	3回	3,000倍	33g/水100ℓ
	カイガラムシ類	アプロードエースフロアブル	収穫7日前	2回	1,000倍	100ml/100ℓ
5月上旬	黒星病・すす斑病	スコア顆粒水和剤	収穫前日	3回	3,000倍	33g/水100ℓ

※かいよう病は降雨時に感染するので、降雨前の散布を心掛けましょう。

<黒星病の防除について>

昨年は黒星病の発生が非常に多い年でした！4月上旬、下旬、5月上旬の春先の防除が有効になりますので徹底しましょう！特に、今まで5月上旬の防除をされていない園は、4月の防除に加え今年は必ず防除をするようにしましょう！ *2週間間隔で散布しましょう。 *前年の被害枝は切除しましょう。

摘果 4月下旬～5月上旬

果実の大きさが大豆程になった頃が適期です。早く仕上げるほど、肥大はよくなります。

樹木の着果量を確認して小玉果や群状結実しているところを摘果しましょう。特に梅酒用品種は早期大玉果の出荷が高単価につながります。

【温州みかん・中晩柑】*下線部は重要防除です。

病害虫防除

4月上旬	○ミカンハダニ	アタックオイル又はハーベストオイル	100倍	1,000ml/水100ℓ
		(ハダニ防除は冬季に散布した場合は不要) (3月散布の場合は80倍)		
		※カイガラムシ類を多く見かけた場合は、アプロード水和剤	1,000倍	14日前 3回を散布しましょう。
4月上中旬	(温州みかん)	○ <u>そうか病</u>	<u>デランフロアブル</u>	収穫前30日 3回 1000倍 100ml/水100ℓ
		又はイデクリーン水和剤	500倍	200g/水100ℓ (薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
		※イデクリーン水和剤はマシン油乳剤との混用およびマシン油乳剤散布後14日以内の近接散布は避けてください。		
		※デランフロアブルはかぶれやすいので注意する。また、かぶれる人はイデグリーン水和剤を使用しましょう。		
		そうか病は新芽が出そった時期に散布しましょう。前年多発園では必ず散布しましょう。		

【キウイフルーツ】

安定した価格で取引されています。高品質な果実生産のため、防除を徹底しましょう。

4月中下旬	花腐細菌病・かいよう病	コサイド	3000	2,000倍	50g/水100ℓ
		※薬害軽減のためクレフノン	200倍	(500g/水100ℓ)	を加用する。

【かき】

病害虫防除

4月下旬～5月上旬	○カイガラムシ類・アザミウマ類	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日	3回	4000倍	25g/100ℓ
	○落葉病	エムダイファー水和剤	収穫	45日前	2回	650倍 153g/100ℓ

※網掛けの農薬につきましては医療用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

【野菜】

定植準備 3月下旬より

定植約1ヶ月前、苦土タンカルと堆肥を施用し、よく耕耘して野菜苗の定植準備をしましょう。購入した苗を定植する場合、栽培環境に慣らすためすぐに定植せず1週間程度は畑の近くに置いておきましょう。また、定植数日前にマルチをかけ地温を高めておくと根の活着が良くなります。

元肥

	定植前に施しましょう。1aあたりの使用量		
		ジシアンS 806	ようりん
キュウリ		15kg	4.0kg
		CDU燐加安S555号タマゴ	ようりん
トマト		7kg	5.0kg
ナス		8kg	4.0kg

【水稲】

塩水選

水10ℓに対してうるち種子は 塩2.15kg、もちは 塩1.26kgを目安としてください。浮いたモミを取り除き、底に沈み充実した種モミを種子として使用します。

種子消毒

塗抹処理 (農薬液と種子を一緒に混ぜ、種子に均等に付着させる方法。)

種モミは十分に乾燥させ使用する。薬液量は種モミ重の3%で、種モミをかき混ぜながら薬液を垂らし付着させる。処理後も薬剤の効力は持続するので、処理後貯蔵することも可能。

(例) 乾燥種子10kg 薬液300ml

(テクリードCフロアブル40ml + スミチオン乳剤3ml + 水257ml)

* 種子消毒には浸漬処理もありますが、農薬の廃液が生じない塗抹処理が望ましい。

浸種

消毒済の種モミは、水切り後自然乾燥(水洗いはしない)し水道水に浸して催芽(ハト胸状態)させましょう。有効な水温は10℃以上です。目安は水温の積算温度100℃(20℃の場合5日)です。

播種・出芽

播種量: 乾モミで150g~180g/箱

育苗土消毒 播種直前 1箱あたりナエファイン粉剤(6~8g)を土と混合する。

1箱あたりナエファインフロアブル(2000倍)の希釈液を500~1000mlかん注し、その後播種する。

播種時 1箱あたりタチガレエースM液剤(1000倍)+ダコニール1000(1000倍)の混合液500mlをかん注し、その後播種する。

育苗肥料: 20g/箱(育苗土に配合されている場合は必要なし)

温度管理: 積算温度60~64℃で出芽させる。育苗器の場合、30℃で2~3日。

育苗管理

1cm程度出芽したら、平らに並べ育苗する。

昼間: 20~25℃、夜間18℃程度で、概ね7日間で緑化させる。床土保温のため、箱を広げてすぐの夕方のかん水はせず、急激な温度変化を避けましょう。

近年、温暖化の影響で天候不順が起きやすくなっており、育苗期間中の病害も発生しやすくなっています。

種子や培土の消毒、育苗期間の温度管理は徹底しましょう。

【いちじく】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

施肥 3月

春肥 大地のめぐみ 100kg/10a (樹勢により調整する)

早すぎると初期生育が良くなりすぎ、節間が長くなり結果数が減り収量の減少につながるので注意する。

病害虫防除 4月

○カミキリムシ類 ガットサイドS 原液塗布 (株元から結果母枝まで塗布) 収穫7日前 3回 又は

○アイノキクイムシ 1.5倍液を主幹部に散布 収穫7日前 3回 (1.5倍散布はアイノキクイムシのみ登録あり)

栽培管理

3月中旬～5月上旬 晩霜・主幹日焼け対策

樹液が動き始める3月中旬頃は晩霜被害が出やすい(特に主枝部分)ので、稲わら等をのせて縛り防寒しましょう。雨に濡れないようビニールで覆うと効果的です。

4月下旬～5月下旬 敷きわら

降雨の泥跳ねによる病害防止と梅雨明け後の乾燥防止のために、主枝の下に幅1m前後で敷きましょう。

【お茶】

病害虫防除 3月上旬～4月上旬

○カンザワハダニ バロックフロアブル 3000倍 摘採14日前 1回

○もち病 ドイツボルドーA 500倍 摘採14日前 1回

施肥 4月 芽出し肥 摘採20～30日前に10aあたり硫安40kg (2回に分けて行う)

一番茶の摘採

本茶の摘採 4～5葉展開を待ち1芯3～4葉を摘みましょう。

刈番茶の摘採 遅れ芽が揃ってから行いましょう。(摘採後7～15日)

一番茶の摘採面で刈る事がポイントです。

一番茶の刈り残し(残してきた1～2節)を絶対にとらないこと。

※摘採後は生葉ムシに注意し、日陰の涼しい所で管理しましょう。

【お願い】農薬は適正に使用しましょう！！

県内農産物において、農薬残留基準値超過事案が発生しています。(当JA管内ではありません。)定められた使用基準を守らない場合は「農薬取締法違反」となりますので、ラベルをよく確認し使用方法を守り生産履歴の記帳に努め安心安全な農産物の生産をお願いいたします。

～農薬事故はこうして起こる！発生事例～

○収去した作物から適用のない農薬を検出(残留基準値超過)

→当該の作物には直接散布していないが、前日に他の作物に使用した散布器を洗浄不足のまま使用した。(ホースは洗浄するが、タンクを洗う習慣がなかった。)

→当該の作物には直接散布していないが、隣接する他の作物に散布した農薬が飛散(ドリフト)した。

上記のようなことが原因となり農薬事故が起こります。農薬の登録を守って使用することはもちろん、散布器具の洗浄は念入りに、ドリフトには十分注意しましょう。同じ畑で複数の作物を栽培している場合や、圃場同士の距離が近い場合などはさらにドリフトの注意が必要です。

※網掛けの農薬につきましては医療用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

☆中井営農経済センターからのお知らせ☆

- ① 回覧・注文書の取りまとめについて
 - ・梅干用資材 ・果樹夏農薬・肥料 注文書

申込締切日：令和6年4月9日(火)までに

- ・中井管内の方は、中井営農経済センター(到着)までお届け下さい。
- ・相和管内の方は、相和支店(到着)までお届け下さい。
- ・下中管内の方は、下中集出荷場(ポスト)・前羽ポスト・下中支店(到着)までお届け下さい。

② 野菜苗の自己取りについて

ご予約の野菜苗・しょうが種子の受渡日時は以下のとおりです。ご確認をお願いいたします。

【下中集出荷場】 令和6年4月16日(火) 9:30～11:00まで

【相和支店】 令和6年4月17日(水) 9:30～11:00まで

【中井支店】 令和6年4月19日(金) 9:30～11:00まで

【井ノ口支店】 令和6年4月23日(火) 9:30～10:30まで

- ・コンテナなどの容器をご持参の上、必ずお引き取りをお願い致します。
- ・苗・種子はいかなる場合も数量の変更、キャンセルはできませんのでご承知おきください。
- ・苗の状態に関するお問い合わせは、受け渡し後即日限りとさせていただきます。
- ・さつまいも苗は5月中旬頃より随時配送させていただきますが、産地の植え付け時期の都合・天候等により、6月上中旬になる場合がございます。ご了承下さい。
- ・きゅうり苗は低温に伴い生育不良を引き起こす恐れがありますので、保温をするなど、受け渡し後の管理には十分にご注意ください。

③ 中井営農経済センター決算棚卸による営業時間の変更について

中井営農経済センターは、決算棚卸のため下記の日程で営業時間の変更がございます。

ご利用の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

月 日	中井営農経済センター
3月28日(木)	通常営業
29日(金)	8:40～12:00
30日(土)	休業
4月1日(月)	午前中 棚卸監査 営業開始12:00～
2日(火)	通常営業